

司法制度について学びませんか？

要事前申し込み
参加費無料

0.1%とその先

湖東病院事件シンポジウム

12.15 (日)

13:30 - 17:00

検察が起訴したら99.9%が有罪となるとされている今日、わずか0.1%の無罪を勝ち取った事件があります。なぜえん罪が起こったのか、そしてえん罪の被害に遭われた方をいかにして救済するかといったことをみなさんと共有するイベントを行います。

歴史に残るえん罪事件と今後の国賠訴訟について
湖東病院事件の弁護士と研究者からお話を聞く貴重な機会です。

会場

立命館大学朱雀キャンパス
一階多目的室

京都市中京区西ノ京朱雀町1
最寄り駅：JR二条駅
最寄りバス停：千本三条・朱雀
立命館前



登壇者

井戸謙一氏 (滋賀弁護士会)
池田良太氏 (京都弁護士会)
清水拓磨氏
(立命館大学准教授)

お申込みはこちらから

二次元コードまたは、
WEBサイトからお願いします。

webサイト欄



主催

立命館大学IPJ学生ボランティア

各種SNSはこちらから

Instagram



X(旧Twitter)



開催にあたって



無罪判決だけで解決？

無罪判決が出るだけではえん罪の被害にあわれた方の名誉回復や損害は十分に救済されたとは言えません。救済手段として、国に司法の誤りの責任を問う、国家賠償請求があります。しかし、国家賠償請求も多くの時間を費やす必要があるなどという問題をかかえます。



IPJとは？

刑事事件のえん罪被害者を支援し救済すること、えん罪事件の再検証を通じて公正・公平な司法を実現することを目指して2016年4月1日に設立され、弁護士、研究者などの専門家で構成されています。また、複数の大学から数百名の学生がボランティアとして活動に参加しています。



(IPJについてはこちらから)

プログラム

- 1.開会のあいさつ
- 2.えん罪/IPJについて
- 3.湖東病院事件について
- 4.トークセッション①
(井戸先生・池田先生)
- 5.えん罪被害者への経済的救済
(清水先生)
- 6.トークセッション②
(井戸先生、池田先生、清水先生)
- 7.質疑応答
- 8.西山さんからのメッセージ
- 9.終わりの挨拶

総合司会：立命館大学IPJ学生ボランティア

99.9%

現在の司法制度についてご存じでしょうか。テレビドラマなどで知っている方もおられるかもしれませんが、実は検察が起訴した事件は99.9%が有罪になると言われています。その中で残りの0.1%に当てはまる事件がえん罪と言われるものです。